

令和4年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和3年度実績に基づく評価）

作成日 令和 4 年 7 月 25 日

政策体系	基本目標名	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	施策主管課長	学校教育課
	政策名	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり		
	施策名	1	特色ある教育と心の教育の推進		
施策関係課	教育総務課、教育センター、生涯学習課				永松 啓輔

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的 「対 象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標		単位	R1	R2	R3	成果指標 設定の考え方	・全国学力調査や新体力テストにおける本市の結果を全国と比較することによって学力及び体力の状況について把握でき、更なる成果向上につながると考え、指標として採用した。 ・児童生徒を対象とした「豊かな心（規範意識、他者尊重）」に関するアンケートを実施し分析することによって成果や課題が明確になり、豊かな心の育成の取組を充実させることができると考え、指標として採用した。 ・児童生徒の学力向上・体力向上・心の教育の推進のためには、教職員が研修を通して指導力を高めていく必要があると考え、指標として採用した。		
	①市立学校児童生徒	①	児童生徒数	人	8377	8212	8074				
	②市立学校教職員	②	教職員数	人	682	648	655				
		③									
		④									
施策の目的 「意 図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）		区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の 取得方法	① 全国学力調査 ② 新体力テスト ③ 児童生徒への意識調査 ④ 児童生徒への意識調査 ⑤ 教職員へのアンケート
	①児童生徒が、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」をしっかりと身に付ける。	①	全国学力調査平均正答率の全国平均との比較	目標 実績	点	-2.0 -1.6	-1.0 -0.5	-0.5 -	±0 -1.2		
	②教職員が研修を重ね、時代の変化に対応できる指導力を身に付ける。	②	新体力テストの平均得点の全国平均との比較	目標 実績	点	±0 -1.2	0.5 -0.4	1.0 -	1.5 -0.7		
		③	「きまりや規則を守っている。」と答えた児童生徒の割合	目標 実績	%	93.5 94.7	94.0 96.8	94.5 -	95.0 94.6		
		④	「自分と違う意見も尊重している。」と答えた児童生徒の割合	目標 実績	%	88.0 87.5	89.0 94.5	90.0 -	91.0 96.0		
		⑤	研修を通して指導力が向上したと考える教職員の割合	目標 実績	%	88.0 97.0	89.0 95.8	90.0 -	91.0 97.9		

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
生きる力の育成	児童生徒	「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」が身に付く。	① 全国学力調査平均正答率の全国平均との比較	目標 実績	点	-2.0 -1.6	-1.0 -0.5	-0.5 -	±0 -1.2	小中一貫教育の推進	教職員	小中一貫教育を通して、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図る。	① 教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合	目標 実績	%	90.0 65.4	91.0 76.9	92.0 -	93.0 85.7
			② 新体力テストの平均得点の全国平均との比較	目標 実績	点	±0 -1.2	0.5 -0.4	1.0 -	1.5 -0.7				②	目標 実績					
			③ 英検3級程度以上の英語力を身に付けている生徒の割合	目標 実績	%	35.0 38.5	40.0 33.2	45.0 -	50.0 41.4				③	目標 実績					
			④ 「先生の授業が分かりやすい。」と答えた児童生徒の割合	目標 実績	%	95.0 90.7	95.5 93.1	96.0 -	96.5 82.5				④	目標 実績	%	27.8 64.2	31.9 66.8	36.1 74.1	40.3 71.5
教職員の資質の向上	教職員	時代の変化に対応した指導ができる。	① 「先生の授業が分かりやすい。」と答えた児童生徒の割合	目標 実績	%	95.0 90.7	95.5 93.1	96.0 -	96.5 82.5	特別支援教育の推進	特別な支援が必要な児童生徒	個に応じた指導を受けることができる。	① 個別的教育支援計画を作成した児童生徒の割合	目標 実績	%	27.8 64.2	31.9 66.8	36.1 74.1	40.3 71.5
			② 英語のパワーアップ研修に参加した教職員数（延べ人数）	目標 実績	人	50 40	60 24	65 27	70 17				②	目標 実績					
			③	目標 実績									③	目標 実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成評価

施策	令和3年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況			
	取組方針				成果指標			
施策	・新型コロナウイルス感染症対策としての学校における「新しい生活様式」の徹底を図る。 ・葛生義務教育学校開校準備として、教育課程編成等の支援を進める。 ・あそ野学園義務教育学校の教育成果を全中学校区で共有することで、本市における小中一貫教育の充実を図る。 ・教員の時間外勤務縮減を図り、教員がゆとりをもって、児童生徒の指導に向き合えるよう、教職員の働き方改革を進める。 ・保護者に対し、個別的教育支援計画作成において必要となる合理的配慮に関する啓発を進める。 ・「一校一改革・一挑戦」の取組を推進するとともに、さわやか教育指導員等を各学校の実情に応じて配置することで、学力・体力向上及び豊かな心の育成を図る。 ・オンライン学習実施に向け、家庭への支援も含めた準備を進める。				□ 全て達成 ☑ 一部未達成 □ 全て未達成			
	・「一校一改革・一挑戦」の取組を推進するとともに、さわやか教育指導員等を各学校の実情に応じて配置することで、学力・体力向上及び豊かな心の育成を図る。 ・家庭への支援も含め、オンライン学習実施に向けた準備を進める。 ・新型コロナウイルス感染症対策としての学校における「新しい生活様式」の徹底を図る。				□ 全て達成 ☑ 一部未達成 □ 全て未達成			
基本事業	基本事業名 令和3年度基本事業の取組方針				基本事業の取組方針・成果指標達成状況			
	生きる力の育成				小中一貫教育の推進			
基本事業	教職員の資質の向上				特別支援教育の推進			

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等				施策の成果向上に向けての役割分担			
	市民				行政			
施策の基本情報	・学習指導要領において、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」の育成が求められている。また、保護者や議会からも、児童生徒の学力・体力向上、健全育成に関する要望がある。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休業が行われたり、学校における新しい生活様式が示されたりして、学力・体力向上に向けた児童生徒への指導・支援の在り方、及び教職員研修の在り方について見直しが必要となったが学校における新しい生活様式が定着するとともにICTの活用が進み、学びの保障が図られている。 ・県内を含め全国各地において、小中一貫教育が進められ、義務教育学校が開校している。なお、本市2番目の義務教育学校として開校予定の葛生義務教育学校については、令和元年東日本台風の影響から、令和5年の開校となった。 ・令和5年度から部活動改革により、休日の部活動が段階的に地域に移行されることに伴い、教職員の働き方改革を進めていく施策の一環としても、地域部活動推進事業を推進していく必要がある。 ・特別支援教育については、国においてガイドラインが策定されるなど、体制及び内容の充実が図られている。 ・「選ばれた佐野」の一環として、資格取得に対する支援、キャリア教育の充実が求められている。 ・佐野市全体の教育力向上のため公私教育の連携が必要である。				・児童生徒は、自ら生活習慣及び学習習慣を確立させる。 ・保護者は、家庭教育の充実を図る。			
	・「一校一改革・一挑戦」の取組を推進するとともに、さわやか教育指導員等を各学校の実情に応じて配置することで、学力・体力向上及び豊かな心の育成を図る。 ・家庭への支援も含め、オンライン学習実施に向けた準備を進める。 ・新型コロナウイルス感染症対策としての学校における「新しい生活様式」の徹底を図る。				・学力及び体力向上のための「一校一改革・一挑戦」を充実させる。 ・教職員の研修に努める。 ・推進ブロックごとに、実態に応じた小中一貫教育を推進する。 ・「個別的教育支援計画」を作成し、具体的な支援を行う。			

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題		今後の方向性	
	【令和4年度で解決する課題】		①「一校一改革・一挑戦」の取組を推進し、教職員研修、学校訪問時の指導助言等の積み重ねによって教職員の資質の向上を図り、授業の充実、改善を推進する。	
・コロナ禍であったがICTの活用によるオンライン学習が進み、学びの保障を図ることができた。 ・コロナ禍ではあったが、指導力向上のため、開催方法を一部オンラインにするなど工夫しながら教職員研修を実施したり、指導主事や学校教育指導員等が学校を訪問し指導助言を行ったりすることで、授業等の充実や改善を推進した。 ・さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の配置については、各学校の状況を踏まえて、配置を決定するとともに、資質の向上を目的とした研修会を実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対応のため中止とした。 ・あそ野学園義務教育学校はもとより、他の各推進ブロックにおいても、小中一貫教育グランドデザインに基づいた工夫した取組が見られた。また、実践成果を資料にまとめ、市内全校に配布し、更なる充実の参考資料として活用することができた。 ・令和5年度の葛生義務教育学校開校に向け、教育課程の検討等、基本的な事項についての検討を進めている。 ・教職員の働き方改革を進めていく施策の一環として地域部活動推進事業を推進していくため、モデル校での実践を開始した。 ・個別的教育支援計画の作成については、特別支援教育コーディネーター連絡会議等で内容についても共通理解を図るとともに、個々の児童生徒の実態に即した計画となるよう、巡回相談等の機会に指導助言を行った。 ・施策コストについては、令和2年度411,778千円に対し、令和3年度397,273千円であり、14,505千円の減額(対前年度比96%)であった。コロナ禍による対策事業により予算の執行が増額となったものがあった一方で、外国語青年指導助手についてJETプログラム(海外青年招致事業)を活用したこと、ICT活用自学自習支援事業によるeライブラリ導入が終了したことなどから、結果として、決算額は減少となった。	【令和5年度以降にも引き継がれる課題】 ①「一校一改革・一挑戦」の取組のため、教職員研修、学校訪問の実施による授業等の充実や改善の推進 ②英語研修会の充実や研究校での実践研究の支援及びALT等を活用しての指導体制の充実 ③市立小中学校適正規模・適正配置後期基本計画を踏まえた小中一貫教育の充実 ④学力向上・体力向上・豊かな心の育成のためのさわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の適切な配置 ⑤特別な支援が必要な児童生徒に対する取組の充実 ⑥GIGAスクール構想の実現に向けた教職員の意識改革及びICT活用能力の向上 ⑦生徒・学生の資格取得に対する支援 ⑧「公私教育連絡協議会」の設置による佐野市全体の教育力向上		②小学校における英語の教科化等を受けて、研修会の充実、研究校での実践研究の支援体制等を整える。また、ALT等を活用しての指導体制の充実を図る。 ③適正規模・適正配置後期基本計画を踏まえ、義務教育学校における実践の成果を全市立学校で共有し、各推進ブロックの小中学校の状況に応じた特色ある小中一貫教育を推進する。 ④児童生徒へのきめ細かな指導・支援に努めるため、さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の適正な配置を図り、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図る。 ⑤インクルーシブ教育システムの構築に向けた教職員の指導力の向上を図るとともに、児童生徒の実態や教育的ニーズに合った合理的配慮の提供となるよう、学校・保護者に啓発していく。また、巡回相談実施後の児童生徒の受容を確認し、助言や支援がより適切なものとなるよう改善していく。 ⑥GIGAスクール構想の実現に向けて、「1人1台端末の効果的な活用に向けた指針(仮称)」に基づき、研修内容や方法を工夫して1人1台端末の一層の活用を図る。 ⑦生徒・学生の資格取得に対する支援を周知する。 ⑧「公私教育連絡協議会」を設置し、公立私立の教職員が交流することで、佐野市全体の教育力向上を図る。 ⑨教職員の働き方改革を進めていく施策の一環として、地域部活動推進事業について実施組織を整え、地域スポーツクラブ等と連携しながら段階的に進めていく。 ⑩キャリア教育推進計画に基づき、特に小学生段階からのキャリア教育の充実を図る。 ⑪葛生義務教育学校の教育課程の実施について随時点検し、指導・支援を行う。	